

2024年12月吉日

関係各位

一般社団法人 日本技術者連盟  
会長 村上 雅人

## 『第3次米国・カナダにおける防衛産業とグローバルサプライチェーンの強靱化調査団』 派遣に伴うご案内

拝啓 時下益々ご清栄の段大慶に存じます。平素はご支援賜わり厚く御礼申し上げます。

国家防衛戦略には、「防衛生産・技術基盤はいわば国内防衛力そのものと位置づけられ、その強化は必要不可欠」と記されています。その手段として防衛装備品の輸出を促進し、ほぼ自衛隊に限られてきた販路を広げる為、政府は防衛装備移転の原則を定めて、一定の条件下で輸出を認めることにしました。

こうした状況を踏まえ本連盟では、日本の防衛産業とグローバルサプライチェーンの強靱化を支援するため、第1次調査団を2024年3月 米国に派遣、第2次調査団を2024年10月 英国・フランス・チェコに派遣し、多大な成果を挙げました。

このたび第3次調査団として、防衛省 顧問 深澤 雅貴 氏に団長としてお引き受け賜り、米国およびカナダに向け、標記調査団を派遣致します。これにより米国・カナダのグローバルサプライチェーン強靱化対策に関する最新の動向を共有し、今後の日本のグローバルサプライチェーン強靱化にさらに寄与したいと考えております。

趣旨・調査項目、日程等につきましては別添の参加要項をご覧ください、ご参加をお願い申し上げます。

ご参加頂ける場合は、最終ページの参加申込書に必要事項をご記入の上、参加者の名刺（和文・英文共）と、パスポートの顔写真部分のページのカラーコピーを添えて、**2025年1月20日（月）までに**、一般社団法人日本技術者連盟あて、E-mail（gyomu1@jef-site.or.jp）にてお申込み下さい。

敬具

※お申込みについて、稟議の都合上、締切日を過ぎる場合や参加者のご変更がございます場合には、お手数ですが事務局までお問い合わせ下さい。

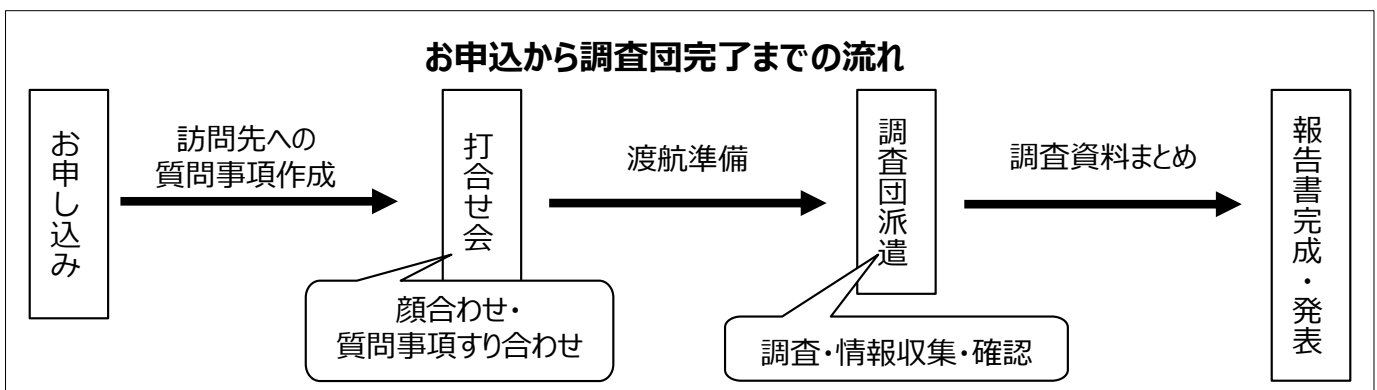
### 【海外調査団/視察団へ参加する意義とは】

海外へ行って、見てみる、感じてみる、（Go and See）自社の世界のみならず他業界を含めて現場に行って体験したり、組織の中でどのような活動をしているのか、どのような切り口で付加価値を伴っているかを聴いてみるのは大変有効である。自分が理解していないことを理解するためにも必要な行動でもある。

また、参加団員相互の友好関係を通じて海外人脈の構築は二つ目の付加価値である。

一般社団法人日本技術者連盟  
海外調査団/視察団推進センター

### お申込から調査団完了までの流れ



一般社団法人日本技術者連盟



〒107-0052 東京都港区赤坂2-17-12 チュリス赤坂 1302号  
TEL: 03-6229-1946 FAX:03-6229-1940  
E-mail: gyomu1@jef-site.or.jp  
URL: http://www.jef-site.or.jp  
URL: http://www.wkx21c.org

# 『第3次米国・カナダにおける防衛産業とグローバルサプライチェーンの強靱化調査団』

## 参加要項

1. テーマ：『第3次米国・カナダにおける防衛産業とグローバルサプライチェーンの強靱化調査団』
2. 期間：2025年3月16日（日）～3月23日（日）（8日間を予定）
3. 主催：一般社団法人 日本技術者連盟（JEF）
4. 後援：公益財団法人防衛基盤整備協会  
（順不同・ご依頼予定） 一般財団法人防衛技術協会
5. 団長：深澤 雅貴氏 前 防衛装備庁長官／防衛省顧問



### ■ 職歴

1988年：防衛庁入庁 装備局管理課  
2005年：自衛隊群馬地方連絡部長  
2006年：運用企画局事態対処課国民保護・災害対策室長  
2007年：大臣官房文書課法令審査官  
2009年：大臣官房参事官  
2010年：経理装備局航空機課長  
2012年：南関東防衛局企画部長  
2014年：内閣官房内閣参事官  
2016年：東北防衛局長  
2018年：大臣官房審議官  
2019年：大臣官房サイバーセキュリティ・情報化審議官  
2021年：統合幕僚監部総括官  
2022年：防衛省地方協力局長  
2023年：防衛装備庁長官  
2024年：現職

### 6. 調査項目：（案）

- ① 防衛装備技術に関する国際協力
- ② 防衛基盤／生産基盤の強化とイノベーション
- ③ 陸上・海上・航空分野におけるDX化
- ④ 防衛産業とサプライチェーンのグローバル化と強靱化
- ⑤ 軍民両用（デュアルユース）の取り組みと技術革新
- ⑥ サイバーセキュリティとリスク管理システム
- ⑦ 中小企業（スタートアップ・ベンチャー企業）などの発掘
- ⑧ 日本・米国・カナダにおける防衛産業及び防衛装備産業の国際協力
- ⑨ その他

### 7. 参加対象

防衛産業に携わる企業／団体／公的機関、及び今後 防衛産業に参入する意思のある関係者の皆様



一般社団法人日本技術者連盟

〒107-0052 東京都港区赤坂2-17-12 チュリス赤坂 1302号

TEL: 03-6229-1946 FAX:03-6229-1940

E-mail: gyomu1@jef-site.or.jp

URL: <http://www.jef-site.or.jp>

URL: <https://www.wkx21c.org>

**8. 予定訪問先・概要：** ※米国及びカナダにおいて下記の訪問先を予定しておりますが、現地側の都合により変更される場合もございますので、予め、ご諒承賜りますようお願い申し上げます。

**米国の訪問先候補：**

- 1. DARPA (Defense Advanced Research Projects Agency)** バージニア州 アーリントン  
米国防総省の研究機関として、国防および安全保障のための革新的な技術開発を進める。特に、将来の脅威に対応するための新しい技術や能力を開発することを目的としていて、高リスク・高リターンプロジェクトに多額の投資を行い、短期間での技術的ブレークスルーを目指す。  
最近、AIと自律システム、サイバーセキュリティ、量子コンピューティングなどの分野で、研究が一層強化されている。DARPAと日本の防衛省・防衛装備庁は、軍事技術の分野で連携を図っているが、具体的な点は明らかになっていない。しかし、日本の防衛装備庁もDARPAのような役割を目指し、革新的な技術開発への投資を増やしているため、技術交流や情報交換が期待されている。  
(以下の部門のいずれかを訪問予定)
- DSO (Defense Sciences Office)  
基礎科学から応用技術まで幅広い分野での研究を担当。新しい技術プラットフォームやコンセプトを生み出すことに特化。
- MTO (Microsystems Technology Office)  
電子、フォトニクス、MEMS (微小電子機械システム) など、マイクロ技術およびナノ技術の研究開発を行っている。
- STO (Strategic Technology Office)  
国防と戦略的ニーズに対応するため、情報技術やセンサーシステム、ネットワーク技術などの開発を担っている。
- 2. Cybersecurity and Infrastructure Security Agency (CISA)** ワシントンD.C.  
米国防総省の独立したシンクタンク。サイバーセキュリティ分野に特化し、重要インフラの保護を担当して、サイバーセキュリティのリスク管理を支援。また、軍民両用技術に関連するプロジェクトを推進して、サプライチェーンの強化を担当。政策研究を通じて防衛基盤強化や技術革新に貢献している。

- 3. General Dynamics** バージニア州フォールズチャーチ  
米国の主要防衛企業。陸上、海上、航空の幅広い分野で装備品を開発・製造しており、日本の防衛計画と合致する装備品の提供者。特に潜水艦や航空機分野で、日本との共同開発プロジェクトが期待される。最新の防衛技術に直接アクセスできる可能性があり、防衛産業の国際競争力を強化する機会が得られる。

**カナダの訪問先候補：**

- 1. カナダ国防省 (Department of National Defence, DND)** オンタリオ州オタワ  
(以下の部門のいずれかを訪問予定)
- DRDC (Defence Research and Development Canada)  
カナダ国防省の研究部門であり、国防技術および科学の研究開発を担当。陸海空のすべてにおいて、サイバーセキュリティや海上安全保障、北極圏防衛など多岐にわたる分野で活動。さらには災害対応能力の強化を目指した技術が求められる分野において、日本とカナダの連携が期待できる。
- ADM(Mat) - Assistant Deputy Minister (Materiel)  
カナダ国防省における装備・調達を担当する部門。軍用物資や装備の調達、管理、技術支援などに携わる。軍用資材や技術の流通経路の管理、効率的な調達システムの構築に役立つ知見が得られる。
- CSE (Communications Security Establishment)  
サイバー防衛および情報セキュリティの専門機関であり、通信保全とサイバー防衛を担当。サイバーセキュリティや情報通信における、セキュリティ強化に関連した技術的な協力が期待できる。日本の防衛産業やサプライチェーン強靱化において、サイバー防衛はますます重要な要素となっているため、CSEの役割は大きい。
- 2. National Research Council of Canada (NRC)** オンタリオ州オタワ  
カナダの国家研究機関で、防衛技術、デュアルユース技術の開発に従事し、防衛基盤の強化に関するプロジェクトにも参加している。軍民両用の技術革新において重要な役割を果たす。  
NRCは、カナダの主要な研究機関であり、防衛技術やデュアルユース技術の分野で多くの研究を行っている。日本との協力で、技術革新が期待される。日本にとっては、NRCの研究成果を活用して技術革新を加速させる機会となる。カナダ側は、日本の技術力を導入し、両国の防衛技術を高度化することができる。
- 3. Canadian Association of Defence and Security Industries (CADSI)** オンタリオ州オタワ  
カナダ防衛産業の主要な工業会。防衛産業の強化と国際協力を促進し、日本とカナダの防衛産業協力の機会を模索している。

## 参加要項

9. 募集人員：15名

10. 参加費：¥1,850,000-（税別 お申込金 50万円を含む）

※日程その他に変更が生じた場合には、参加要項等に変更がありますことを予めご了承下さい。

11. 通訳・プロジェクトマネージャー：各コース共、現地同行

12. ホテル：一人部屋

13. 総合事務局：株式会社アジア技術移転機構

東京都港区赤坂2-17-12 チュリス赤坂 1302号 TEL: 03-6229-1950

14. 運営実施：観光庁長官登録旅行業者

15. 申込方法：添付申込書に必要事項をご記入の上、参加者のパスポートの顔写真のついたページのカラーコピー及び名刺のコピー（和文と英文）を添えて、

2025年1月20日(月) までに、E-mail (gyomu1@jef-site.or.jp) 宛に

お申込み下さい。すぐに担当者より、ご連絡申し上げます。

※稟議の都合上、お申込みが締切日を過ぎる場合や、参加者にご変更の可能性がございます場合には、お手数ですが日本技術者連盟（電話03-6229-1946）までお問い合わせ下さい。

16. 代金支払：一般社団法人日本技術者連盟の総合事務局 株式会社アジア技術移転機構より請求書をご送付申し上げます。

期日までにお振込みくださいますよう、お願い申し上げます。



一般社団法人日本技術者連盟

〒107-0052 東京都港区赤坂2-17-12 チュリス赤坂 1302号

TEL: 03-6229-1946 FAX:03-6229-1940

E-mail: gyomu1@jef-site.or.jp

URL: <http://www.jef-site.or.jp>

URL: <http://www.wkx21c.org>

2025年3月16日（日）～ 3月23日（日） 8日間						
日次	月・日・曜	都市名	交通機関	現地時間	スケジュール	食事
1	3月16日 （日）	羽田 発 ワシントンDC着	Air		羽田空港 発 ワシントンDC クス空港 着  ワシントンDC泊	機内食 昼 ○ 夕 ○
2	3月17日 （月）	ワシントンDC			<b>Defense Advanced Research Projects Agency (DARPA) 表敬訪問</b> <b>及び在日米国大使館紹介による企業訪問</b>  ワシントンDC泊	朝 ○ 昼 ○ 夕 ○
3	3月18日 （火）	ワシントンDC			<b>Cybersecurity and Infrastructure Security Agency (CISA)訪問</b> <b>General Dynamics訪問</b>  ワシントンDC泊	朝 ○ 昼 ○ 夕 ○
4	3月19日 （水）	ワシントンDCから オタワへ移動	Air		<b>移動</b>  オタワ泊	朝 ○ 昼 ○ 夕 ○
5	3月20日 （木）				<b>カナダ国防省（Department of National Defence, DND）表敬訪問</b> <b>National Research Council of Canada (NRC) 訪問</b>  オタワ泊	朝 ○ 昼 ○ 夕 ○
6	3月21日 （金）				<b>Canadian Association of Defence and Security Industries (CADSI))訪問</b> <b>CADSI紹介によるオタワ周辺企業訪問予定</b> オタワ泊	朝 ○ 昼 ○ 夕 ○
7	3月22日 （土）	オタワ発	Air		オタワ 発	朝 ○ 昼 ×
8	3月23日 （日）	羽田着			羽田空港 着	機内食

※ 上記日程の記載内容は予定であり、訪問先を含め、今後、参加者の意向により、変更になる場合もあります。



## 参加費に含まれるもの

### I) 旅行上の諸費用

- 団体エコノミークラス航空運賃
- 燃油特別付加運賃、空港税等
- ホテル宿泊費（税・サービス料含む）
- 食事代（日程記載分。飲物は含まず）
- 現地陸上交通費（空港・ホテル・視察先への専用車代、ガイド代、列車代、チップ代等）
- 施設等見学費
- 団長、通訳、添乗員 同行費用

### II) 現地諸機関折衝及び手配料

- 現地 手配費用
- 現地 事前打合せ出張等諸費用

### III) 企画・運営業務費など

- 企画運営費及びコーディネート費
- ツアー管理費（リスク管理費を含む）
- 事前打合せ会/調査関連資料提供費
- 調査報告書作成費 他

## 参加費に含まれないもの

原則として左記以外は含まれません。その一部を例示します。

- 渡航手続き諸費用（旅券取得費用、渡航手続取扱料金等）
- 個人的経費（電話代、クリーニング代、チップ、飲み物代等）
- 集合時及び解散後の交通費
- 超過手荷物料金
- 任意の海外旅行傷害保険費用
- ご自身の障害・疾病に関する医療費

## お客様のご都合によるキャンセル規定（特別キャンセル規定）

- お申し込み後、旅行開始日の前日から起算して31日目にあたる日までの取消料：お申込金 50万円
- 旅行開始日の前日から起算して30日目に当たる日以降から旅行開始3日前までの取消料：参加費の50%、及び企画手配料 10万円
- 旅行開始日の前々日以降の取消料：参加費全額

詳細は事務局までお問い合わせ下さい。

## その他

- ◆ 参加費は、2024年11月末日時点の運賃及び10名以上の参加者数に準拠したものです。ご出発前に、参加人員や燃油特別付加運賃に大幅な変更があった場合、参加費用が変更になる可能性もございますので、予めご了承下さい。

## 参加における注意事項

### ■ 海外旅行保険について

ご出発前に、特に以下の点をご考慮の上、海外旅行保険にご加入頂けますよう、お願い申し上げます。

所属先企業としてご加入されている場合は、事前に補償内容についてのご確認をお願い致します。

- 提携病院の有無（あればその病院名、住所、通訳サービスの有無、医療費一時支払必要性の有無など）
- 飛行機が遅延した際の費用保障
- 保険会社名、保険加入番号、緊急時連絡先
- 補償限度額（入国時に、補償額への条件を設けた海外旅行保険加入を義務付けている国がございます）

### ■ 渡航前準備について

訪問先の入国時に、査証が必要となる場合がございます。

査証取得のお手続き、費用のお支払い等については、ご参加者様ご自身にてお願い致します。

詳細につきましては、事務局にお問い合わせください。また事前打ち合わせ会でも、詳しくご説明する予定です。

## 一般社団法人日本技術者連盟 役員構成

<b>会長</b>	村上 雅人	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 監事、芝浦工業大学 元 学長、工学博士
<b>顧問</b>	野々内 隆	元 通商産業省資源エネルギー庁 長官元一般財団法人経済産業調査会 理事長
	斎藤 信男	慶應義塾大学 名誉教授 工学博士
	松井 一秋	一般財団法人エネルギー総合工学研究所 研究顧問
<b>理事</b>	井戸田 勲	一般社団法人日本技術者連盟 専務理事
	梶原 豊	高千穂大学 名誉教授 経営学博士
	浮舟 邦彦	学校法人滋慶学園 総長 Ph.D.
	内藤 香	元 公益財団法人核物質管理センター理事長
	林道 寛	元 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 バックエンド推進部門長

**主催** : 一般社団法人日本技術者連盟 (Japan Engineers Federation : JEF)  
**総合事務局** : 株式会社アジア技術移転機構 (Asia Technology Transfer Organization, Inc. : ATTO)  
〒107-0052 東京都港区赤坂2-17-12 チュリス赤坂 1302号  
**TEL** : 03-6229-1946 (JEF) / 03-6229-1950 (ATTO)

『第3次米国・カナダにおける防衛産業とグローバルサプライチェーンの強靱化調査団』  
参加申込書

一般社団法人 日本技術者連盟 (JEF) 行

※該当欄にチェックして下さい

 訪問先に持参する資料 有 (内容: ) 無

フリガナ					
会社名・団体名		顔写真	メンバーリスト作成のため 顔写真をご提出ください		
英文名			● 4cm × 3cm程度 ● 脱帽・正面・背景無地		
所属名/役職名					
英文名					
フリガナ		生年月日	西暦	年	月 日
参加者氏名					
パスポート記載名 (ローマ字)		学位			
E-mail		携帯電話番号			
勤務先	ご住所	〒	-		
	電話番号		FAX番号		
ご自宅	ご住所	〒	-		
	電話番号				
フリガナ					
担当責任者名			印		
所属名/役職名					
電話番号/E-mail					
旅券 (パスポート) について: 今回の旅行に必要な旅券をお持ちですか。(日本帰国日より3ヵ月以上の残存期間が必要)					
① はい	旅券番号:	有効期限	西暦	年	月 日
② いいえ	<input type="checkbox"/> 現在申請中	<input type="checkbox"/> 旅券の作成代行を依頼する。(有料)	<input type="checkbox"/> 自分で申請・取得する		
喫煙の習慣	有 ・ 無	強いアレルギーなど ございますか	有 ( ) ・ 無		
通信欄 ご質問・ご希望等	マイレージをお持ちの方は番号をご記載ください (例 JAL 1234567、ANA 2345678)				

## 個人情報保護方針

旅行申込書にご記入いただく、氏名、年齢、生年月日、電話番号、メールアドレス、住所、勤務先等の情報は「個人情報」に該当しますので、企画主催・企画実施・取扱旅行社・総合事務局は以下に掲げる個人情報の取扱いに関する基本方針及び個人情報に関して適用される法令を遵守して、お客様に関する個人情報の適正な管理・利用と保護に万全を尽くします。

## 1. 個人情報保護利用の目的

お客様がお申し込みになられた運送、宿泊その他の旅行に関するサービス (以下「旅行サービス」といいます) を手配するために必要な範囲で情報を利用いたします。また、旅行サービス提供機関に対し、お客様の氏名、パスポート番号及び現地滞在先等をあらかじめ電子的方法等で送付することによって提供します。

## 2. 個人情報の開示・提供

下記の場合を除き、お客様からお預かりした個人情報を第三者に開示・提供いたしません。

## ア. ご本人の同意がある場合

イ. 旅行サービス提供機関や販売店の手配業務委託先に、旅行サービス手配に必要な最小限の情報を開示・提供する場合。

ウ. 法的な命令等により個人情報の開示・提供が求められた場合。

3. 個人情報に関するご質問、又はご意見は、総合事務局にてお受けいたします。

## 企画主催: 一般社団法人日本技術者連盟

<http://www.jef-site.or.jp> / <http://www.wkx21c.org> / E-mail : [gyomu1@jef-site.or.jp](mailto:gyomu1@jef-site.or.jp)

総合事務局: 株式会社アジア技術移転機構

〒107-0052 東京都港区赤坂2-17-12 チュリス赤坂 1302号

TEL : 03-6229-1950

FAX : 03-6229-1940